

淡路支部ニュース

2012. 1. 25  
No. 278

兵庫県保険医協会  
淡路支部  
〒656-0610 洲本市物部三丁目44  
松本医院内  
☎ 079-912-0071

## 新年ご挨拶

# 医療・福祉を守り 発展させる一年へ

淡路支部長 高田 裕



り方が問われた一年であつたと思います。

本年四月には、診療報酬と介護報酬の同時改定が予定されています。後期高齢者医療制度から始まった受益者負担、それにとりもなう受診抑制効果を狙った政策が、形を変えて繰り返し出てきています。

(2面に続く)

二〇一二年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年の東日本大震災とその後の放射能汚染により、文字通り国のあ

## Let's...

♪春よ来い、早く来い…。寒いですね。まづは新年おめでとうございます。今年はどうなる？ まづは台湾総統選に始まった選挙の年。最後が長丁場の米大統領選として、英・ミャンマー等々。日本は？

昨年のような変な事件の続きはご遠慮願いたい。だが、すでに大学入試での各種トラブル、自転車・ケータイによる変テコな事件が起こっている。通りがかりに子どもを傷つけたり、イタズラ電話、模倣犯が多いというところからすれば、報道関係者も考慮していただきたいことになる。興味本位の新聞・週刊誌、TV…。

「電子書籍か活字本か」の議論は一応従来通りという  
ことで識者間の結論となつた模様。一方、ケータイの方は行方知れずというところらしい。インターネットとともに、まさに犯罪の温床みたい。大体、悪知恵というものは常に想定外の事件を起こしているようですね。入試のカンニングはむしろ末端。企業秘密から国家間の案件まで。アインシュタインから始まった新知識のことは、まさに私などには想定外。  
医療では、今年四月の点数改善？悪？  
最後にもうひとつの歌。ご存じの方何人？  
♪今日も暮れゆく異国の丘に 友よ辛かる切なかる  
我慢だ待ってる嵐が過ぎりゃ 帰る日も来る春も来る (シベリア)  
もうひとつの問題。冬至が過ぎたらすぐ夜明けの時間は早くなる？

「松本記」

兵庫県保険医協会淡路支部「医療安全管理研修会」

# 外来での医療安全管理・院内感染対策

～手洗い、個人防護具の適切な使用など～

日時 2月18日(土)15時～16時30分

会場 洲本市市民交流センター会議室A・B  
(洲本市宇原1788-1、TEL 0799-24-4450)

講師 県立淡路病院看護師 正司貴美子氏

定員 70人(事前申込順)

参加費 一人1,000円 ※受講された方には修了証を発行します。

医療法改定によって、「すべての医療機関の管理者は、医療の安全を確保するための指針の策定、従業員に対する研修の実施をはじめとする、医療の安全を確保するための措置を講じなくてはならない」とされ、具体的な措置として①医療安全管理、②院内感染対策、③医薬品安全管理、④医療機器安全管理の体制の確保が義務付けられました。特に「医療安全管理」「院内感染対策」に関しては、職員・従業員の研修を年2回程度実施することが求められています。ぜひご参加ください。

【FAX送信】078-393-1802 事務局 楠行

2/18(土)淡路支部「医療安全管理研修会」参加申込

医療機関名 \_\_\_\_\_ / 洲本市 南あわじ市 淡路市

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ / 職種 \_\_\_\_\_



連絡先 TEL \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ ご担当( \_\_\_\_\_ )様

会員投稿

学術集会へ出席しよじり

洲本市 仲野 秀介

(前号からの続き)

▼一月五日 洲本市健康大  
学講座「生活習慣病と生体リ  
ズム」(神戸大学教授・江本憲  
昭先生)

私たちの脳や全身の細胞は  
生活のリズムを刻む時計の働  
きを持っている。これを「生体  
時計」といい、この時計が正確  
に時を刻むことで昼間に活動  
し、夜間に眠るという生活サ  
イクルが繰り返されている。  
血圧や代謝ホルモン分泌、体  
温なども、この生体時計に  
よって調節されているという  
話だった。このスライドの中  
でイエローストーン国立公園  
が出てき、映画「シェーン」の  
バックである美しい山が出て  
きたので大変印象的。ここへ  
行ったことがある。

▼一月五日 淡路医師会勉強  
会「石巻医療圏における東日本  
大震災の対応」(石巻赤十字病院  
外科部長、宮城県災害医療コー  
ディネーター・石井正先生)

石巻赤十字病院はここ数年に  
来るであろう大津波を予測して  
高台に建てられていた。多くの  
災害者が搬送され大変役に立っ  
た。全体のコーディネーターと  
して非常に苦労されたが、東北  
大学のスタッフをはじめ、全国  
からの医師の応援により、大活  
躍したというお話で大変感激し  
た。実際に植田先生と石井先生  
のお話を拝聴して、テレビ  
ニュース等で見るより実感が  
あった。改めてご苦労様です  
と申し上げたい。

▼一月六日 淡路市医師会五  
周年記念講演会「元気な明日の

ために」

・「がんの検診と予防」(県立がん  
センター院長・西村隆一郎先生)

「がん検診の受診率が低い、受  
けてがんにかからないようにし  
よう」とのお話であった。

・「元気な明日のためにがんを負  
けない」(女優・仁科亜季子)

三十八歳の時、突如襲ってき  
た子宮頸がん。闘病生活から今  
なお闘っている。後遺症につい  
て、そして検診や予防ワクチン

の大切さと共に日々明るく元気  
に過ごすため心がけようと言っ  
たのか印象的だった。

以下は私の感想。検診で見つ  
かる疾患がある場合、それを行  
わないで死亡したなら、それは  
自殺に等しい。そのことは学生  
時代に教わり、従って今もたく  
さん検診を受けている。また、医  
師は一般の人々にそのようなこ  
とを勧める義務があると思う。

\* \* \*

昨年末にたくさんの学術講演  
会に参加してきた。それぞれの

トップの人々の話で有意義だっ  
た。

準備会場およびレジメの印  
刷、それに関わる多数の入々の  
協力で会が成り立つ。話を拝聴  
したらそれだけ講師の貴重な体  
験や知識の習得になる。会が盛  
況であるためには参加者が多数  
でなければならぬ。どうか保  
険医協会・医師会会員の皆様、多  
数の学術集会にご参加を。

三医師会でも、ご多忙の中、明  
石先生、滝川先生、高田先生各  
会長も参加しておられる。先生  
方にお会いすると、一言かけて  
くださる。学術集会に参加した  
労をねぎらってくださいという  
と解釈し、非常に嬉しく思う。

下手な文章をなぜ出すか。例  
えば地区医師会ニュース等は会  
員の投稿が集まらずに困ってい  
る。よく募集しているようだ。保  
険医協会もそうであるだろうと  
思い、淡路医師会の人に読んで  
いただけると思い、老人だが、最  
初で最後の文章と思いい、出させ  
ていただいた。



(1面からの続き)

「受診時定額負担」は皆保険制度に風穴を空け、低所得者に負担を強いる最悪の制度であり、断固反対していききたいと思えます。「税と社会保障の一体改革」「TPPにおける医療保険への影響」なども、注意深く見守っていかねばなりません。

「アンチエージング」

「アンチエージング」

パートⅡ」の記念講演、病診連携も兼ねた臨床談話会、在宅ケア・緩和ケア研究会、審査対策など独自の活動も行いました。

今年も支部の取り組みとして、診療報酬改定研究会、臨床談話会、緩和ケア研究会などを予定しています。

兵庫県保険医協会淡路支部は、様々な組織・個人と協力しあい、ともに地域医療・保健活動における信頼・絆の核となり、くらしと医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

## 投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思えます。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp 淡路支部担当 楠まで



## インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp